



東部地域病院だより



●〒125-8512 東京都葛飾区亀有五丁目14-1 ●TEL03-5682-5111

●作成・発行 医療サービス向上委員会 ●毎月15日発行



当院における内視鏡検査と治療について



①上部消化管内視鏡

上部消化管内視鏡検査とは、食道・胃・十二指腸にできる病気（炎症・潰瘍・ポリープ・がん・食道静脈瘤など）を調べて、適切な治療方法を考えるための検査です。検査中に何か異常が見られたり、また疑われた場合には必要に依り組織の検査（生検）が行われます。



胃がんは、がんの中で発生する確率が2番目に高く、男性の9人に1人、女性の18人に1人が胃がんと診断されており、がんの種類別の死亡者数は男性で第2位、女性で第4位と報告されています。

こうしたデータを見ると、胃がんになると治りにくいのではないかと思うかもしれませんが、胃がんは早期に見つければ95%以上が治癒するといわれている治療成績の良いがんでもあります。ただし、早期の段階では自覚症状が出にくいがんですので、早期発見・早期治療には、たとえ症状がなくても定期的ながん検診を受けることが非常に重要だといえます

当院は葛飾区胃内視鏡検診の実施医療機関です。胃内視鏡検診をご希望の方は、葛飾区役所にお問い合わせいただくか、葛飾区のホームページをご覧ください。

内視鏡検査につきまして、鎮静剤の注射を希望される方や、鼻から内視鏡を入れて検査する【経鼻内視鏡】を希望される方は、予約の時に紹介医師に申込みをお願いします。

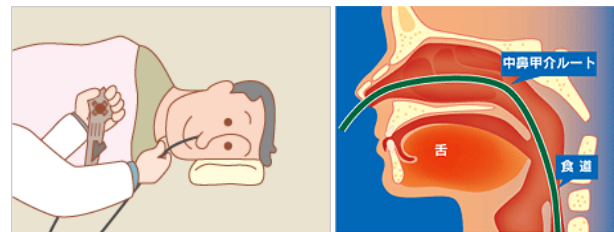
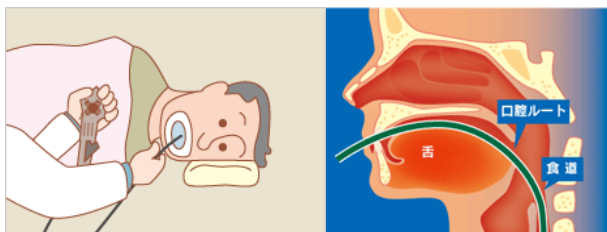
鎮静剤の欠点として、検査当日は眠気が残ったり、判断力の低下から事故につながる恐れがありますので、ご高齢の方は、ご家族の付添いをお願いいたします。

また、検査時に鎮静剤の注射を使用した方は、検査終了後は病院で約1時間休んでから帰宅していただきます。

詳細につきましては、かかりつけの先生または当院の担当医にご相談ください。

経口内視鏡

経鼻内視鏡



公益財団法人東京都保健医療公社 東部地域病院
電話番号 03-5682-5111(代表)
HPアドレス(PC) <http://www.tobu-hp.or.jp/>

携帯電話からのアクセスは、こちらのQRコードを読み取ってください。





ポリファーマシーという言葉をご存知ですか？



ポリファーマシーとはお薬の多剤併用のことで、最近の医療の問題として取り上げられています。



ポリファーマシーの問題点

臨床的に必要以上のお薬が投与されていたり、不必要なお薬が処方されている状態のことをポリファーマシーといいます。これにより副作用の発現頻度の増加や残薬の増加につながります。

ポリファーマシー対策

自分の使用している薬の記録をつけておくための「**お薬手帳**」を活用しましょう。「お薬手帳」を活用することで医師、薬剤師へ薬の情報を正確に伝えることができ、ポリファーマシーを回避、改善することができます。



ポリファーマシーを含めお薬についてお困りでしたら、いつでも当院の薬剤師にご相談ください。



骨塩定量検査について

～骨を構成しているカルシウムなどのミネラル類の量を測定する検査～
(2019年4月よりスタート)



骨密度測定方法

① DXA (デキサ) 法

骨粗しょう症の診断に使用される測定方法

正確な骨密度を測定でき、日本骨粗鬆症学会のガイドラインにおいて推奨

骨折しやすい腰椎（腰の骨）と大腿骨頸部（太もものつけ根）、前腕などで測定

② MD (エムディ) 法

手の骨密度をX線で簡便に測定

③ (QUS)定量的超音波測定法

かかとの骨に調印派を当て、骨の強さを反映する測定法



放射線科での検査方法



昨年度 当院主催「看護の日イベント」での測定法



腰椎撮影中



島津メディカルシステムズ写真提供 (当院骨塩定量装置)